

# 景気の動き

## 四 国（管内経済情勢報告・四国財務局）

項目	1月判断	前回（2024年10月判断）
総括判断	緩やかに持ち直している	同左
個人消費	緩やかに持ち直している	同左
生産活動	一進一退の状況にある	同左
雇用情勢	緩やかに持ち直している	同左
公共事業	前年度を上回っている	同左
住宅建設	前年を下回っている	同左
設備投資	6年度は前年度を上回る見込み	同左
企業収益	6年度は増益見込み	同左
企業の景況感	「上昇」超	「下降」超

〔四国財務局 2025年1月30日発表〕

## 全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	2月月例	1月月例
基調判断	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。 （先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。）	同左
個人消費	一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる	同左
設備投資	持ち直しの動きがみられる	同左
住宅建設	おおむね横ばいとなっている	同左
公共投資	底堅く推移している	同左
輸出入	輸出	このところ持ち直しの動きがみられる
	輸入	このところ持ち直しの動きがみられる
	貿易・サービス収支	赤字となっている
生産	横ばいとなっている	同左
企業	収益	総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている
	業況判断	改善している
	倒産件数	おおむね横ばいとなっている
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左
物 価	国内企業物価	緩やかに上昇している
	消費者物価	上昇している

〔内閣府 2025年2月19日発表〕